



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年5月14日

上場会社名 ニッポンインシュア株式会社
コード番号 5843
代表者（役職名）代表取締役社長
問合せ先責任者（役職名）専務取締役兼管理事業部長
半期報告書提出予定日 2025年5月14日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
URL <https://www.nipponinsure.jp/>
（氏名）坂本 真也
（氏名）竹村 洋一（TEL）092(726)1080
配当支払開始予定日 —

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	1,785	14.6	387	45.1	399	55.3	272	57.8
2024年9月期中間期	1,557	—	266	—	256	—	172	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	97.58	95.71
2024年9月期中間期	62.43	61.92

（注）2023年9月期中間期については中間財務諸表を作成していないため、2024年9月期中間期の対前年同中間期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期中間期	4,842	2,219	45.8
2024年9月期	4,600	1,977	43.0

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 2,219 百万円 2024年9月期 1,977 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	3,622	12.5	516	23.5	517	26.2	360	28.6	128.89

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期中間期	2,794,300株	2024年9月期	2,794,300株
② 期末自己株式数	2025年9月期中間期	20株	2024年9月期	1株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年9月期中間期	2,794,287株	2024年9月期中間期	2,767,092株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビュー対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本報告書に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2025年5月27日（火曜日）午後6時から投資家向けの決算説明会（オンライン説明会）を開催する予定であります。なお、決算説明会で使用する決算説明会資料につきましては、本日、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、好調なインバウンド需要の拡大を背景に、社会経済活動も緩やかな回復基調を維持する一方で、米国の経済政策に関する不確実性、長期化する地政学的リスクなどを背景とした各種物価の上昇が個人消費の回復を妨げる可能性があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の関連業界である賃貸不動産業界においては、デジタル技術の進化により、契約手続きのデジタル化が進んでおります。具体的には、契約書類のオンライン化や電子署名の導入が行われており、紙の契約書の作成や保管、運送といった手間を省くことが可能となっており、また、電子契約システムの導入により、契約のスピードアップやリモートでの取引が可能となるなど、業界全体のデジタルトランスフォーメーション（DX）が進展しております。

このような事業環境のもと、当社は多様化する顧客ニーズに対応するべく、これまで培ってきたノウハウを活用し、保証システム及び取扱店様向け顧客情報管理システムの改修を図り、主要都市を中心にサービスの業容拡大を目指してまいりました。

この結果、当中間会計期間の経営成績は、売上高1,785,691千円（前年同期比14.6%増加）、営業利益387,254千円（前年同期比45.1%増加）、経常利益399,078千円（前年同期比55.3%増加）、中間純利益272,674千円（前年同期比57.8%増加）となりました。

なお、セグメント別の経営成績につきましては次のとおりであります。

(保証事業)

保証事業におきましては、積極的な新規取引先の開拓を継続することにより、新規優良顧客の獲得に努め、シェア拡大を目指してまいりました。また、タイアップにより商品に新しい価値を加え、既存クライアントへは随時情報収集を行い、新たな商品設計の提案を行うなど、各施策を実施し顧客ニーズへの対応強化を図ったため、契約件数が順調に推移しました。さらに、SMSを使ったWEB請求・オートコール・AIオペレータによるオートメーション化を図るなど、回収効率向上にも取り組んでまいりました。

この結果、本報告セグメントの売上高は1,674,534千円（前年同期比15.1%増加）、セグメント利益は518,026千円（前年同期比32.1%増加）となりました。

(その他)

その他の区分におきましては、ランドリーサービスについては、店舗の美化向上に向けた業者による清掃を行い、「安心、安全、清潔」な店舗を維持するように努めました。

フィットネスサービスについては、お客様一人ひとりに合わせたサポート体制を目指し、ストレッチ教室の開催やカウンセリングを通じてフォロー体制を強化してまいりました。さらに、近隣のスーパーなどを活用した集客活動を通じて、新規会員の獲得を積極的に行ってまいりました。

この結果、その他の区分の売上高は111,157千円（前年同期比8.1%増加）、セグメント利益は19,804千円（前年同期比15.9%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

総資産の残高は、前事業年度末に比べ241,788千円増加し、4,842,104千円となりました。

流動資産の残高は、前事業年度末に比べ235,966千円増加し、4,286,657千円となりました。これは主に、現金及び預金が63,935千円増加、未収入金が101,026千円増加、求償債権が150,738千円増加、貸倒引当金が64,316千円増加したことなどによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比べ5,821千円増加し、555,446千円となりました。これは無形固定資産が7,679千円増加、投資その他の資産が2,380千円増加した一方で、有形固定資産が4,237千円減少したことなどによるものであります。

（負債）

負債合計は、前事業年度末に比べ125千円減少し、2,622,439千円となりました。これは主に、流動負債の前受収益が66,114千円増加した一方で、未払金が31,449千円減少、保証履行引当金が24,552千円減少したことなどによるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ241,914千円増加し、2,219,664千円となりました。これは主に、利益剰余金が中間純利益の計上により272,674千円増加した一方で、配当金の支払いにより30,737千円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ63,935千円増加し、2,524,359千円となりました。当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは125,192千円の収入（前年同期は39,627千円の収入）となりました。これは主に、税引前中間純利益399,078千円、貸倒引当金の増加64,316千円、未収入金の増加△101,026千円、求償債権の増加△150,738千円、前受収益の増加66,114千円、法人税等の支払額△136,962千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは25,552千円の支出（前年同期は27,736千円の支出）となりました。これは無形固定資産の取得による支出△25,552千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは35,705千円の支出（前年同期は579,325千円の収入）となりました。これは主に、配当金による支出△30,301千円によるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月14日の「2024年9月期決算短信」で発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,460,424	2,524,359
売掛金	19,660	21,633
未収入金	724,337	825,363
求償債権	1,272,764	1,423,502
その他	59,961	42,572
貸倒引当金	△486,457	△550,774
流動資産合計	4,050,690	4,286,657
固定資産		
有形固定資産	30,235	25,998
無形固定資産	81,587	89,266
投資その他の資産	437,801	440,181
固定資産合計	549,624	555,446
資産合計	4,600,315	4,842,104

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当中間会計期間 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	483,500	481,000
1年内返済予定の長期借入金	864	864
未払金	81,222	49,772
未払法人税等	145,754	139,801
預り金	139,096	130,095
前受収益	1,198,795	1,264,909
賞与引当金	35,810	35,012
保証履行引当金	420,239	395,686
その他	13,641	15,683
流動負債合計	2,518,923	2,512,826
固定負債		
長期借入金	6,376	5,944
退職給付引当金	30,736	32,199
役員退職慰労引当金	58,990	66,381
その他	7,539	5,088
固定負債合計	103,641	109,613
負債合計	2,622,565	2,622,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	347,564	347,564
資本剰余金	367,793	367,793
利益剰余金	1,262,391	1,504,329
自己株式	-	△23
株主資本合計	1,977,750	2,219,664
純資産合計	1,977,750	2,219,664
負債純資産合計	4,600,315	4,842,104

(2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	1,557,889	1,785,691
売上原価	584,982	639,929
売上総利益	972,907	1,145,762
販売費及び一般管理費	706,029	758,507
営業利益	266,877	387,254
営業外収益		
受取配当金	-	2,400
受取補償金	-	7,095
受取賃貸料	790	790
償却債権取立益	1,226	1,740
その他	228	1,273
営業外収益合計	2,245	13,299
営業外費用		
支払利息	573	1,282
支払手数料	184	184
上場関連費用	11,459	-
その他	7	7
営業外費用合計	12,225	1,475
経常利益	256,896	399,078
税引前中間純利益	256,896	399,078
法人税、住民税及び事業税	138,215	130,057
法人税等調整額	△54,075	△3,653
法人税等合計	84,140	126,403
中間純利益	172,756	272,674

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	256,896	399,078
減価償却費	20,485	17,019
貸倒引当金の増減額(△は減少)	76,578	64,316
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,984	△797
保証履行引当金の増減額(△は減少)	36,971	△24,552
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,702	1,463
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,091	7,391
受取利息及び受取配当金	△13	△3,669
支払利息	573	1,282
売掛債権の増減額(△は増加)	△1,700	△1,972
未収入金の増減額(△は増加)	△88,995	△101,026
求償債権の増減額(△は増加)	△190,175	△150,738
預り金の増減額(△は減少)	16,963	△9,000
前受収益の増減額(△は減少)	752	66,114
その他	△16,755	△5,140
小計	90,390	259,767
利息及び配当金の受取額	13	3,669
利息の支払額	△572	△1,282
法人税等の支払額	△50,204	△136,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,627	125,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,293	-
無形固定資産の取得による支出	△23,563	△25,552
その他	△2,879	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,736	△25,552
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△13,000	△2,500
長期借入金の返済による支出	△432	△432
株式の発行による収入	595,129	-
配当金の支払額	-	△30,301
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,372	△2,448
その他	-	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	579,325	△35,705
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	591,215	63,935
現金及び現金同等物の期首残高	1,729,700	2,460,424
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,320,916	2,524,359

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前中間会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	保証事業		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	135,655	102,857	238,512
その他の収益	1,319,376	—	1,319,376
外部顧客への売上高	1,455,031	102,857	1,557,889
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,455,031	102,857	1,557,889
セグメント利益	392,060	17,088	409,149

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ランドリーサービス及びフィットネスサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	392,060
「その他」の区分の利益	17,088
全社費用(注)	△142,271
中間損益計算書の営業利益	266,877

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当中間会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント	その他 (注)	合計
	保証事業		
売上高			
顧客との契約から生じる収益	169,539	111,157	280,697
その他の収益	1,504,994	—	1,504,994
外部顧客への売上高	1,674,534	111,157	1,785,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,674,534	111,157	1,785,691
セグメント利益	518,026	19,804	537,831

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ランドリーサービス及びフィットネスサービスを含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	518,026
「その他」の区分の利益	19,804
全社費用(注)	△150,576
中間損益計算書の営業利益	387,254

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。